

<p>課題名</p> <p>(1) 当院回復期病棟に入院した患者のリハビリテーション効果についてのデータ解析。</p> <p>(2) 当院に入院した嚥下障害患者の訓練前後の訓練成果の解析。特に気管切開がある患者と嚥下障害の重複は訓練が難しく、努力を要した症例などの解析。</p>
<p>(1) 新規に導入される医療</p> <p>(2) 保険診療の対象とならない医療</p> <p>(3) 患者に不利となる可能性のある医療</p> <p>(4) その他</p>
<p>概要</p> <p>(1) 当院回復期病棟に入院した患者のリハビリテーションによる効果の検証を行なう。理学療法、作業療法、言語療法を行っていた患者データを解析し、当院の訓練成果がどの程度であったかを検証する。カルテからの情報で検討する。</p> <p>方法：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・回復期リハビリテーション病棟へ入院した患者のリハビリテーションデータの解析を行い、今後の治療方法を検証していく。 ・個人情報保護に留意し、個人が特定される事のないように注意する。 ・オプトインは回復期入棟時に全員に文書で許可もらっている。オプトアウトは患者・家族の申し出による。結果の一部は学会発表を行う。 ・後方視的研究で患者負担はない。 ・年次的に解析し、積み上げていく予定である。

<p>(2) 当院に入院した嚥下障害患者の訓練前後の成果を解析し、今後の訓練改善に取り組む。</p> <p>特に気管切開と嚥下障害が重複している患者では訓練が難しく、どのような患者であれば気管切開が抜去でき、嚥下訓練が継続できるかはいまだ解決されていない問題で 1 症例ずつの積み重ねが重要である。このような症例を詳しく解析して今後の訓練へつなげていく。結果の一部は学会発表を行なう。</p> <p>方法：</p> <p>嚥下訓練を行なっている患者データを検証し、どの様な訓練を行なって嚥下能力を向上させていくかを検証し、効率的に嚥下能力を回復できる方法を検証する。また、気管切開患者は嚥下訓練が行ないにくく、どのような気管切開患者が嚥下訓練可能か症例を絞って考え、訓練方法の改善点を考察していく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個人情報保護に留意し、個人が特定される事のないように注意する。 ・症例が少ないと考えられる場合には患者・家族へ説明し、許可をいただくことが必要と考えている。
--